

平成19年11月13日

各位

会社名 株式会社新潟放送  
 代表者名 代表取締役社長 竹石松次  
 (JASDAQ・コード9408)  
 問合せ先 常務取締役経営管理局长 相澤信介  
 (TEL. 025-267-4111)

平成20年3月期中間(連結・個別)業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成20年3月期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の業績予想につきまして、平成19年5月23日付の当社「平成19年3月期決算短信」にて発表いたしました中間業績予想との差異が生じる見通しとなりましたので、下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成20年3月期中間(平成19年4月1日～平成19年9月30日)業績予想の修正

(1) 連結業績予想の修正

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回予想(A)	9,813	32	66	21
今回予想(B)	9,743	84	125	33
増減額(B-A)	△70	52	59	12
増減率	△0.7%	162.5%	89.4%	57.1%

(ご参考)

前中間期実績	9,542	51	108	43
--------	-------	----	-----	----

(2) 個別業績予想の修正

(単位:百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益
前回予想(A)	3,816	199	247	131
今回予想(B)	3,870	282	318	163
増減額(B-A)	54	83	71	32
増減率	1.4%	41.7%	28.7%	24.4%

(ご参考)

前中間期実績	3,687	283	337	175
--------	-------	-----	-----	-----

## 2. 修正理由

### (1) 連結業績予想の修正理由

売上高におきましては、放送事業では、テレビスポット広告が県内・県外ともに好調に推移したことにより前回予想を上回りますが、情報処理サービス事業では、大型ソフト開発業務が増加したものの、その売上計上が下期となるなど中間期における売上高は予想を下回る見込みとなりました。

一方、費用面では、情報処理サービス事業における収支の適正化をより進めたことに加え、グループ挙げてコストの削減に努めたことにより予想を大幅に下回る見込みとなりました。

この結果、連結売上高は前回予想を7千万円下回りますが、利益面におきましては、営業利益は5千2百万円、経常利益は5千9百万円、中間純利益は1千2百万円、それぞれ前回予想を上回る見込みであります。

### (2) 個別業績予想の修正理由

放送事業の売上高におきましては、長らく低迷を続けていたラジオ収入がやや回復に転じたことに加え、テレビ収入におけるスポット広告が県内・県外ともに好調に推移したことにより、前回予想を5千4百万円上回る見込みであります。また、利益面におきましては、テレビデジタル放送の運用等に伴う経費増はあるものの、徹底したコストの削減に努めたことにより、営業利益は8千3百万円、経常利益は7千1百万円、中間純利益は3千2百万円、それぞれ前回予想を上回る見込みとなりました。

なお、平成20年3月期 通期(平成19年4月1日～平成20年3月31日)の業績予想につきましては、連結・個別とも、今後の状況等を勘案し平成19年5月23日付「平成19年3月期 決算短信」にて発表いたしました業績予想に変更はありません。

※ 上記の予想は本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以 上